

大阪複十字病院だより

すすこやか

INDEX

P1 ▶ 寝屋川公園フェスティバル

P2-3 ▶ 間質性肺炎／肺線維症 ～病気のお話とリハビリテーションについて～

P4 ▶ 寝屋川感染症ネットワーク研修／望が丘健康教室

別紙 ▶ 外来診療一覧表／シャトルバス時刻表

～寝屋川公園フェスティバルに 当院も参加しました～



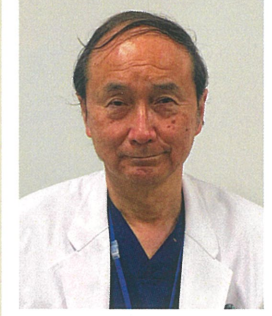
爽やかな秋晴れの下、20社程の事業所がイベントブースを出店する第15回寝屋川公園フェスティバルに参加しました。当院は肺機能検査機器による肺年齢測定を約100名の方に実施し、受診された皆さんは検査結果に一喜一憂されていました。COPD等の肺疾患のパンフレットを配布し、啓発活動も行いました。



間質性肺炎、肺線維症（間質性肺疾患）どんな病気？



私がお答えします！



医師 井上 義一



間質性肺炎、肺線維症（間質性肺疾患）って、なんやねん？

間質性肺炎、肺線維症とは肺の奥にある薄い膜のような壁に囲まれた肺胞と呼ばれる空気の袋の壁（間質）に炎症（腫れる）や線維化（固くなる）を生じる病気です（図1）。どちらも肺の間質の病気として広い意味で間質性肺疾患と呼ばれる事もあります。



間質性肺疾患（間質性肺炎、肺線維症等）の原因あるんか？ 遺伝すんのか？

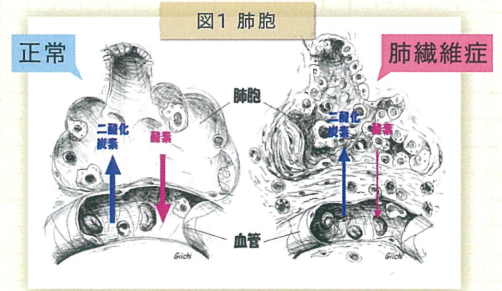
原因、間質性肺疾患は、背景、原因によって以下のように分類されます。治療法は経過が異なるため、診断分類は重要です。また疾患によっては厚生労働省の指定難病として基準を満たすことにより医療費の補助が出る疾患もあります。明らかな遺伝子異常がなくても肺の線維化を来しやすい素因がある場合が報告されています。

- ・原因や背景の病気が明らかでない場合（特発性）：特発性間質性肺炎（IIPs）。この中には、特発性肺線維症（IPF）、特発性非特異性間質性肺炎、特発性器質化肺炎など、9種類に分類されます。
- ・原因や背景の病気が明らかな場合（二次性、非特発性）①関節リウマチや強皮症などの膠原病、肺胞蛋白症などの自己免疫性疾患 ②カビや鳥などの動物由来の物質、粉塵などで生じる、過敏性肺炎、じん肺 ③お薬や放射線で生じる薬剤性肺傷害、放射線肺臓炎 ④コロナ、インフルエンザなどの特殊な感染症 ⑤他（サルコイドーシス、リンパ脈管筋腫症、肺ランゲルハンス細胞組織球症、等）



どんな症状が出るんや？

- ・肺が腫れたり固くなるための症状：呼吸困難、頑固な咳（痰は少ない）
- ・背景の病気の症状：膠原病に伴う関節痛、朝のこわばり、レイノー症状、皮膚の湿疹、発熱、目や喉が渇く、胃食道逆流。特定の場所や季節に症状が出る。薬を飲んで症状悪化、など。
- ・合併症による症状。急性増悪による急な悪化、肺癌合併、気胸、肺高血圧、胸水、血痰、心不全による浮腫など。



どんな検査せなあかんの？

- 以下の様々な検査が必要です。診断時だけでなく経過を追って行います。
- ・胸部レントゲン（図2）、胸部高分解能CT（図3）、静脈からの各種血液検査
- ・肺機能検査（肺活量等）、動脈血液検査（酸素や二酸化炭素）
- ・運動耐容能（6分間歩行検査、トレッドミル）、心電図、心臓超音波検査
- ・気管支鏡検査（気管支肺胞洗浄液検査、経気管支肺生検、凍結肺生検）、外科的肺生検（図4）
- ・肺以外の全身の検査（CT、MRI）
- ・その他必要に応じて：心臓カテーテル検査、FDG-PET、換気血流シンチグラフィ

図2 IPFの胸部レントゲン



図3 IPFの胸部高分解能CT

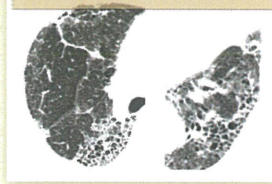
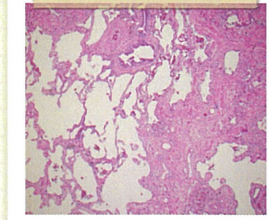


図4 IPFの肺生検像



治療あるんか？ 治るんか？

分類によって治療法もその効果も異なります。原因があれば、原因の治療、原因の除去がまず重要。治る場合、治らなくても進行を押さえる治療、症状を緩和する治療があります。

薬物療法：ステロイド、免疫抑制剤、抗線維化薬。

理学療法：呼吸リハビリテーション。呼吸管理（酸素療法、ネーザルハイフロー、人工換気）栄養管理、緩和療法。

合併症に対する治療等

年齢や基準があれば肺移植（脳死、生体）



どうなるんや？ できないしたらええんや

・治療で良くなる場合、急速に悪化する場合、慢性に悪化する場合、軽快悪化を繰り返す場合など、病気の種類によって様々です。

・大阪複十字病院では、必要に応じて間質性肺炎、肺線維症（間質性肺疾患）の専門的な院内カンファレンスを行い、適切な診断治療を行っています。また大学病院や関連医療センターと連携し特殊検査、肺移植の評価も行っています。難病申請、呼吸機能障害等の評価や申請も可能。難病や慢性呼吸不全患者は入院が長くなる傾向がありますが、必要に応じて、開業医の先生、訪問看護、訪問診療等を交えて積極的に地域との連携を図り、治療を行っています。主治医の先生とご相談ください。



間質性肺疾患(ILD) 特発性肺線維症(IPF)等に対する 呼吸リハビリテーション

理学療法士 久保 智史

呼吸リハビリ テーションとは?

「呼吸リハビリテーション」という名前をご存知でしょうか?呼吸リハビリテーションは、すべての呼吸器疾患患者に適応となる非薬物療法です。日本呼吸理学療法学会などが出した指針(2018)では、呼吸リハビリテーションは、以下のように定義されています。

生涯にわたり継続して支援していくための個別化された包括的介入である。

医師、看護師、理学・作業療法士、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカーなど**多職種が参加する**。

入院から退院後、維持期から終末期まで、急性期、回復期、周術期にいたるまで**継ぎ目のない介入**である。

評価に基づかれた**運動療法を中心として、患者教育、栄養指導、薬剤指導**を含む。

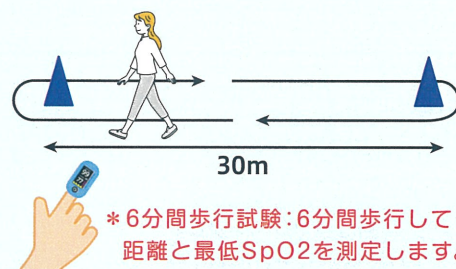
再評価に基づき継続して行われ、**身体活動の向上を重視**する。

ほーん
なるほーん!



■間質性肺疾患(ILD)(IPF等)の特徴

ILDは、安静時でなく労作時に低酸素血症を呈しやすいのが特徴です。その為、精密肺機能や動脈血液ガス検査に加えて、6分間歩行試験を行い、酸素吸入の必要性や運動耐容能(体力)を調べます。



■実際の呼吸リハビリテーションのポイント

01 息切れと上手く付き合い生活する

息切れ動作を自分でコントロール!

02 運動耐容能(体力)を維持または向上させる

横になる時間を減らして活動する!

03 体重減少を予防する

エネルギーを補給して筋量の減少をおさえる!

■普段の生活のポイント



すこしでも大丈夫!

その人に合ったできる**運動**(家事でも可)を継続する。



行動変容が変わる!

活動内容(歩数、趣味活動、家事など)を日誌などに記録して見える化する。



重症化予防が大事!

体調も毎日記録して、**変調があれば早期受診**をおこなう。



呼吸でエネルギー消費大!

多脂食品や補助栄養食品など、**少量で摂取しやすい食品**を上手く摂取して、体重減少を予防する。

■当院呼吸リハビリの様子



当院は、外来呼吸リハビリを実施している数少ない施設です。この機会にぜひ、主治医へ相談してみたいはいかがでしょうか?



2024年度寝屋川感染症ネットワーク研修

去る10/10(木)大阪複十字病院にて、2024年度寝屋川感染症ネットワーク研修を開催しました。

寝屋川感染症ネットワークとは、大阪複十字病院と寝屋川市医師会、寝屋川市保健所が共催した感染症診療・感染対策の会で、寝屋川市内の病院やクリニックの様々な職種の方に参加して頂いており、今回もたくさんの施設・職種の方々にお越し頂きました。

今回は2つのテーマのケースカンファレンスを行いました。ひとつめは、最近増加している溶連菌感染症の症例カンファレンスで、溶連菌感染症の症例提示を行いつつ、診断・治療・感染対策・疫学情報などをクイズも交えながらディスカッションしました。

ふたつめは、災害時の感染対策についてカンファレンスを行いました。寝屋川市が水害に襲われ、電気・水道・交通などが遮断された状況下で、人命救助を行いつつも、どのような感染対策に配慮すべきか、事前協議や備蓄、施設間や官民での連携などを話し合い、その重要性を改めて認識することができました。

寝屋川感染症ネットワークは発足してから今年で12年になりますが、今後も地域医療の一助となる会を目指していきたいと思います。

望が丘健康教室が開催されました

10月16日(水)、望が丘小学校・中学校の1階にある望が丘ランチにて、寝屋川市役所社会推進教育課が主催する「ランチ昼下がり講座 望が丘健康教室」が開催されました。当院のがん性疼痛看護認定看護師である内田範子が講師として招かれ、地域住民の方々へ『自分らしく生きるために～ACPについて～』と題し「人生会議」をテーマにした講演を行いました。

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、「自分が望む医療やケアについてあらかじめ考え、話し合うこと」です。人生の最期をどのように過ごしたいのか、どのような医療を受けたいのかを自分自身で考え、周囲の人々と話し合い、思いを共有することが大切です。講演会ではACPがなぜ重要なのか、その具体的な方法や地域での取り組みについて紹介いたしました。参加者との意見交換では、御自身や御家族の将来、終末期についての質問などがありました。

内田看護師より、これからも地域の皆様へACPについての普及活動を続けながら、最期まで自分らしく生きるためのサポートをしていきたいとの思いを参加者の方々へお伝えし、講演を終了いたしました。



一般財団法人 大阪府結核予防会 大阪複十字病院



〒572-0850 寝屋川市打上高塚町3-10
TEL:072-821-4781(代表) FAX:072-824-2312
URL: <https://www.osaka-hospital.org>



交通アクセス

●JR学研都市線「寝屋川公園駅」より西へ徒歩約5分